



「共に生きる学校」を意識しながら

本校のよきところであり、ずっと求め続けていきたいところは「共に生きる」ということだと思っています。全校児童98名ということもあり、学校全体での多くの活動や縦割り班での活動を設定していますが、活動しながら、お互いに関わり合いながら一人ひとりが自分自身の友だちに対する関わり方を見つめ直す大切な時間になっていると思います。（人と人との関わり合いながらではないと学べないこともあると思います。）また、関わり合う中で、自己有用感を感じたり、思いやりを言葉にしたり、力を合わせることのよさを感じたりすることもあるのではないかと思います。6年生を中心とした活動を通してたくさんよさを感じ、日常の生活の中にも生きて働くことを願っているところです。そんな「共に生きる学校」をめざす取組として「あったか集会」がありますが、集会自体のレベルが年々上がり、大切なことを考えたり、大切なことを感じられる時間となっています。今年度は、9月19日（木）に行われましたが、4年生以上全員が自主的に立ち上がって感想を発表しています。集会の雰囲気を感じながら、心の中に大事なことがしっかりと芽生えたのではないかと思います。（これに続き、9月20日（金）の児童朝会ではなかよし班ごとに「あったか言葉」を使ったビンゴゲームを行っていきましました。）今度は、これを学習発表会につなげていきたいと思っています。



全校での「なかよしグラウンド・ゴルフ大会」

この泊の地で生まれたグラウンド・ゴルフの第1回発祥地大会は、本校グラウンドで開催されています。私たちは、毎日その歴史を感じながら教育活動を行っていることになりましたが、とても幸せなことだと思っています。そして、平成5年度より「潮風の丘」にホームグラウンドを移し、大会規模を拡大した会場で、「全校なかよしグラウンド・ゴルフ大会」を開催できることも大きな幸せだと思っています。

今年は、9月28日（土）に全校でのなかよしグラウンド・ゴルフ大会を行いました。天候があまりよくなく、プレーの時間を少し短縮して行う形になりましたが、各班6年生を中心に「あったか言葉」を掛け合いながら楽しんでプレーできました。また、途中雨が降ってきた時間帯にはクラブハウスの中で、グラウンド・ゴルフ競技を創り出された河本清廣さんに「グラウンド・ゴルフの歴史」についてのお話も聞くことができました。（普段なかなか聞くことの出来ない話なので、とても有意義な時間になりました。）

私たちは、全校での交流活動である「なかよしグラウンド・ゴルフ大会」を通して、この競技の目的の中にもある、一人ひとりのつながりを深めることをさらに進めていきたいと思っています。

グラウンド・ゴルフ協会の皆様、雨の中、子どもたちのために運営に携わっていただき本当にありがとうございました。

